

学会会費の値上げについて

会計委員会

学会の運営は会費、文部省助成金および投稿料などによって賄われている。このうち会費については、会員各位のご協力により、昭和55年春の総会において値上げが承認され、昭和56年1月より実施された。しかし、その後昭和57年に気象学会100周年記念事業を行ったが、この事業を臨時徴収なしで遂行したため、今まで積み立ててきたものを使い切ったばかりでなく、繰越金の急激な減少、予備金の減少の形で学会の財政にインパクトを残した。

これに加えて光熱費・賃借料・会計士費用などの新たな支出が加わり、また公共料金や諸物価の値上がりも続いている。

さらに学会活動のよりいっそうの充実を計らなければならない時代となってきている。昨年秋の大会では理事長報告の形でふれたが、理事会では下記の項目を重点的に行って、学会活動を充実させたいと考えている。

1) 機関誌の維持拡充

「天気」、「気象集誌」の頁数をふやし、内容を充実したい。

2) 支部活動の強化

支部交付金を2割アップして、支部活動の活発化、強化をはかりたい。

3) 国際交流の強化

中国気象学会との交流を手はじめとして、今後国際的な学会交流を強化したい。

4) 事務局体制の確立

以上のような事態のため、理事会では本年春の大会で会費の値上げを正式に提案することにした。なお昨年末の評議員会でも値上げも止むをえないだろうとのご意見を頂いている。

会員各位には、これらの諸事情をご覧察のうえ、深いご理解とご協力を賜わりたい。なお値上げ率は20%とし、一般A会員は現行4,600円が5,500円に、一般B会員は現行8,600円が10,300円にそれぞれ値上げされることになる。

追記：総会に出席されない会員は昭和59年総会書面参加書（「天気」3月号に添付）の「会費値上げのための定款の一部改正」に対する賛否を記入の上、学会事務局に送付願いたい。

正誤表（下記の通り誤植がありましたのでお詫びして訂正させていただきます）

巻号	頁	行	誤	正
30. 12	576	左下8, (4)式中	$\frac{\partial q}{\partial t}$	$\frac{\partial \bar{q}}{\partial t}$
〃	579	左最下段～右段	水平移流項と釣り合ってお AMTEX 域との違いが注 目される。第2表は、カテ ゴリー(A)について ⑩式 り、の各項の値を	水平移流項と釣り合ってお り、AMTEX 域との違い が注目される。第2表は、 カテゴリー(A)について ⑩式 の各項の値を